

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2014

11月

No.113



12月1日から
はじまります

あったかい地域づくり

特集
P2・3

歳末たすけあい運動

山崎町 金谷

かたやま ひでゆき
片山 英之さん(82歳)

ちづこ
千鶴子さん(81歳)

しおん 詩恩くん(4歳) ○ あいね 逢音ちゃん(3歳)

よしほ
嬉歩ちゃん(1ヶ月)

かたやま あきと ゆきこ
片山 暁人さん・由希子さん

■長男・長女・二女

ひ孫と
いっしょ

シリーズ112

歳末たすけあい募金は、赤い羽根子ども劇場の財源にも生かされ、子ども達は児童劇を毎年楽しみにしています



12月1日から
はじまります

あったかい地域づくり

歳末たすけあい運動

今年度も12月1日から「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに全国一斉に「歳末たすけあい運動」が実施されます。

宍粟市社協では、皆さまからお寄せいただいた募金を活用し、これまでのサービスに加え、新たな取り組みとして「赤い羽根あったか灯油配達サービス」を今年度から開始します。今月号は歳末たすけあい運動についてお知らせします。

歳末ならではの 地域福祉活動

歳末たすけあい運動は、市民の皆さまからお寄せいただく「歳末たすけあい募金」を活用し、新たな年を迎える時期に支援を必要とされる方が地域で安心して暮らすことができるように、様々な地域福祉活動を行うことを目的に実施しています。

宍粟市社協では、市内在住で75歳以上のひとり暮らしや生活困窮などから特に支援が必要な

方を対象に、民生委員児童委員の皆さんの協力をえて「社協特製カレンダー」の配布や、年末にお届けする「歳末特別給食」などに取り組んできました。

お寄せいただく募金は、これから歳末に地域でささえあう取り組みの財源として活用をさせていただきます。

新しく

「灯油配達サービス」実施

昨年までは、積雪時の支援サービスとして玄関まわりの雪かき



玄関先で歳末特別給食をお渡ししている様子(H25.12.30)
このサービスの財源も募金が支えています

サービスに取り組んできました。しかし、積雪量が少なくなっていることから年々利用が減少し、利用件数が一番多かった平成23年度との比較では、4割以下まで落ち込んでおり、結果としてお寄せいただく募金を生かし切れない状態にあります。

このような現状もあり、平成17年度から取り組んできた「雪かきサービス」ですが、今年度はこれにかわる新たな取り組みとして「あったか灯油配達サービス」を実施します。

12月1日～31日 “みんなでささえあう、あたたかい地域づくり”

歳末たすけあい運動 今年もよろしくお願いします



今年も12月初旬から、自治会の皆様が募金を呼びかけて下さいます。
あたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

「※」の事業は、民生委員児童委員さんを通じてお申込みください。

※歳末特別給食サービス

特に援助が必要な75歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、12月30日にお弁当を社協の役職員がお届けします。
(昨年度実績522件)



※赤い羽根 **NEW** あったか灯油配達サービス

実施期間
12/22 ~
1/23

特に援助が必要な75歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、あたたかい年末年始が迎えられよう灯油(18ℓ)をお届けします。

(新規事業)



※カレンダー配布サービス

75歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、大きくて見やすいカレンダー。民生委員児童委員さんを通じてお配りします。
(昨年度実績730件)



買い物送迎バスお出かけ号

お住まい周辺に商店がない地域で、概ね75歳以上のひとり暮らしや家族に運転する方がおられない方を対象に買い物バスを運行します。



新入学児童 ランドセル購入助成事業

平成27年4月に小学校へ入学する子どもさんがおられる一人親家庭や両親ともにおられないご家庭に、ランドセルを購入する費用の一部を助成します。
(昨年度実績18件)

募集中
締切
2/28



サンタクロース 派遣事業

実施期間
12/1 ~
12/25



市内の幼稚園や保育所を対象にサンタクロースを派遣します。
(昨年度実績11件) プレゼントは申請者でご準備下さい。

赤い羽根こども劇場

子ども達が児童劇を楽しむ機会を提供します。(8頁参照)

雪かきボランティア事業

豪雪時の雪かきボランティアを募り生活支援を行います。(6頁参照)

募金はこれらの事業を行うため
366万円を目標にしています。
ご協力をお願いします。

宍粟市共同募金委員会
宍粟市社会福祉協議会

現在、対象の運行範囲は山崎町小茅野と波賀町北部域としていますが、他地域での運行も検討して行く予定です。

そこで、買い物支援として周辺に商店がない地域で商業施設等への送迎を無料で行う送迎バス「お出かけ号」を運行し、生活支援活動に取り組みます。

買い物支援サービス 「お出かけ号」の運行

このサービスは、近隣の他市町社協において既に実施されている例もあります。宍粟市版のあたたかい地域づくりの新しいメニューの一つとして、職員間や社協理事会でも議論を重ね、今回の取り組みとなりました。

また、従来の「歳末特別給食サービス」とどちらかを選択いただく方式で実施し、支援が必要な皆さまに少しでも多く利用していただける歳末たすけあいサービスになればと考えます。

や

まさき

高齢化率の高さに驚き

上ノ上ふれあいサロンで『学習会』

上ノ上自治会では、今年度から2年間、本会の小地域福祉活動モデル地区として、「見守り活動を強化し世代交流の場を増やして住民同士の絆を深めたい」と、活動に取り組みたいです。

10月19日(日)

開催のふれあいサロンでは「自治会内の見守りや支え合

いについて考えよう」をテーマに学習会を行い、40人が参加しました。

学習会では、同自治会の福祉データや先進的な見守り活動の事例を本会職員が説明し、自分たちの地域の現状について話し合いました。

参加者からは「高齢化率が44%とはびっくりした」「どないしたら地域が元気でおれるか」など、驚きの声がありました。



「自分たちにできることは何かな」自治会の現状を話し合う機会に。(上ノ上公民館)

「今日の事例やみなさんの意見を参考に、これからは近所で支え合う『近所ボランティア』を考えていく必要があるなあ」とは自治会長の矢野賢一さん。

(山崎支部 森井裕矢)

い

ちのみや

ありがとうでつながるお弁当

三方エプロンの会

「秋の食材たっぷりのお弁当をどうぞ!」

10月19日(日)、本会の地域福祉応援事業の助成団体である三方エプロンの会を訪ねました。

三方エプロンの会は、毎年この時期に三方地区(6自治会)の75歳以上のひとり暮らしまたは二人暮らしの世帯へ手作りのお弁当を届ける結成3年目のボランティアグループです。

メンバーは9人で、事前に民生委員さんに依頼し、対象のお宅を確認。お弁当に添え



仕上げに紅葉をあしらひ、65個のお弁当が完成!(三方町交流センター)

るメッセージの作成や具材の打ち合わせをして当日に備えます。

配達時に留守でおられない場合は、時間をあけて再度訪問したり、近所の方に所在を尋ねるなど見守りや安否確認も兼ねています。

お弁当を届け、短い時間でもお話をすることで「地域みんなを支えあつて暮らしていることを伝えたい」との思いで活動されています。

「私たちも地域の中で活動できて感謝しているんですよ」と代表の秋田貴美子さん。

お互いさまの気持ちを大切にされ、楽しんで活動される姿が印象的でした。

今後、三方エプロンの会の活動がさらに広がるよう、また、新たに住民同士がつながり支えあう活動として期待しています。

(本部・一宮支部 三宅あゆみ)



「元気にしよってですか?」

地域福祉応援事業…赤い羽根共同募金配分金を活用し、地域福祉を推進する住民のみなさんの活動を支援します。審査会にて、申請団体への助成金交付が決定されます。今年度は、7団体へ総額44万2千円助成しました。

読者の感想より

私も給食ボランティアに参加させて頂いていますが、色々なボランティアがある事が良くわかり、私も参加してみようと思います!!(山崎町 女性)

こんにちは!
社協です!!

介護保険制度について勉強

原住民学習会

10月11日（土）、原公民館で住民学習会が行われ、42人が参加しました。

今回の学習会は、住民から「介護保険について勉強したい」という声があり、原福祉連絡会で計画され、全世帯に呼びかけて実施されたものです。

「今日の学習が、みなさんの健康寿命を一歳でも延ばすことにつながるれば」と自治会長の中原三千男さん。

住民の声を受けて実現した今回の学習会。こうしたみなさんの声に応えられるよう、社協職員もお手伝いしていきます。

（波賀支部 平有利菜）

当日は、認知症の高齢者を抱える家族と地域の関わりなどを、社協職員と福祉委員が一緒になって寸劇で演じました。

その後、本会職員が介護保険制度についての説明を行い、参加者はメモを取るなどして真剣に聞いていました。

演劇中には笑いもあり、参加者からは「わかりやすい説明やったわ」との感想が聞かれました。



退院後の住宅改修をテーマに寸劇が行われました(原公民館)

人生の先輩に感謝を込めて

岩野辺敬老会

大正琴、銭太鼓、ビンゴゲーム：会場は大きな拍手で包まれています。

10月19日（日）、岩野辺公民館には、招待者をはじめ、ボランティア、演芸者など120人が集まり、敬老会が盛大に行われました。

岩野辺敬老会

は、これまで婦人会が協力していましたが、一昨年の解散に伴い、昨年から自治会が中心となり準備や運営を行っています。

当日は、お祝いのあいさつ（市長等）や地元ボランティアによる会食、そして栄栗観光大使瀬戸直人さんのライブなどが催しに花を添えました。

「わしらの楽しみなんじゃ」「こないに祝うてもろて」「岩野辺はだあれも仲がええ」といった声がい



拍手!拍手!拍手!「なおと～」の歓声が(岩野辺公民館)

たる所で聞かれ、「これからもうこういった催しを大切にしていきたい」と平瀬恒雄自治会長。

最後に、自治会内の最高齢のみなさんに祝金が贈呈され、参加者全員からあたたかい拍手が送られました。

人生の先輩の方々に感謝の気持ちを込めて：今回の取り組みからもその思いがしっかりと伝わりました。

（千種支部 波多野好則）

はが

ちくさ

「集まれ!ボランティア」



リーフレット完成!

宍粟市ボランティア・市民活動センター

このたび、ボランティア・市民活動センターの役割や機能について紹介したリーフレット(A4・3つ折り)が完成しました。

このリーフレットでは、ボランティアの心得をはじめ災害ボランティアセンターの活動内容についても紹介しています。

ボランティア活動の啓発や活動を始め皆さんの手引きとして今後活用していきます。

登録者
募集

豪雪時の雪かき ボランティア



この冬大雪が降り、高齢者や障がいのある方の生活に大きな支障が生じる場合に備え、社協では「雪かきボランティア」の登録者を募集しています。

積雪時、高齢者や障がい者の生活を守るこの活動にご協力ください。

登録者 高校生以上で健康な方

登録募集(活動)期間

平成26年12月1日(月)～平成27年3月14日(土)

登録から活動までの流れ

- ①登録用紙に記入いただき、申込みをしていただきます。
- ②雪かきボランティアによる支援が必要となった時に、登録者に連絡し、雪かきチームを編成します。

お問合せ先 本部 TEL72-8787

災害時の ボランティア活動を学ぶ

受講者と職員が一緒に
グループワークを行いました



10月25日(土) 宍粟防災センター

3回にわたる災害ボランティア養成講座の最終日。日野ボランティア・ネットワーク(鳥取県)の山下弘彦さんから「災害時ボランティア活動が目指すもの」と題して事例をまじえながらお話いただき、災害時のボランティア活動について学びました。

受講者からは、「災害時におけるボランティアは泥かきだけじゃない」「被災者のくらしを支えていく活動が大事とわかった」などの声を聞くことができました。

3回の講座で仲間意識も高まりました。今後、社協が計画している災害シミュレーション訓練にも協力いただき、一緒に災害について考えていきたいと思えます。

(千種支部 小原志のぶ)

ボランティア
センター日誌

「これからのボランティア 活動に」



来年度の介護保険改正
について説明を聞く役員

10月21日(火) 宍粟防災センター

山崎ボランティア連絡会のみなさんが役員研修を行い15人の参加がありました。

今回の研修は、来年度の制度改正に伴い今後、今まで以上に地域の力が求められるようになる介護保険制度について本会ケアマネジャーに説明を受けました。

参加者からは「いろんなボランティア活動をしているけど介護保険に繋がっているな」と地域で自分たちに何ができるかを考える機会になりました。

「今日話を聞いて、今までの自分たちの活動以外に視野が広がりました」と会長の春名芳子さん。

今回の役員研修がこれからのボランティア活動に役立つきっかけになったようです。

(山崎支部 横山洋子)